2025 年 12 月

朝日ライフ アセットマネジメント株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第 301 号
一般社団法人 投資信託協会会員 / 一般社団法人 日本投資顧問業協会会員

ハリス・アソシエイツ社の 2026 年の市場見通し

2026 年の米国株式市場の見通し: バリュー投資家の機会
ビル・ナイグレン、CFA、パートナー、米国株式 CIO(最高投資責任者)

2026 年を見据える中で、ハリス・アソシエイツ社(以下、ハリス社といいます。)では、市場が近年で最も魅力的な投資環境の一つを呈していると考えています。S&P500 指数は 1950 年代以降で最も集中度が高くなっており、少数のメガキャップ・テクノロジー企業が指数のパフォーマンスと投資家心理の両方を牽引しています。この集中は最近パッシブ投資家に恩恵をもたらしていますが、同時にリスクも生み出しています。少数の銘柄のボラティリティが、ここ数十年見られなかった方法でポートフォリオ全体に波及する可能性があるのです。

バリュエーションも同様の状況を物語っています。指数は一株当たり利益の 23 倍超で取引されており、わずか 10 年前の 17 倍と比較すると高水準です。しかし、平均値は誤解を招く可能性があります。表面下では、約 150 社が依然として一株当たり利益の 14 倍未満で取引されています。これらの企業の多くは魅力的な価格であるだけでなく、強固なファンダメンタルズと持続可能な競争優位性も有しています。これは「バリュー(割安)」が低品質を意味するという古い固定観念に挑戦するものです。

努力(つまり、ボトムアップ・リサーチ、企業価値の算定への注力、そして忍耐)を惜しまない投資家にとって、機会は明確です。アクティブ運用者は、魅力的なバリュエーションで質の高い企業の分散されたポートフォリオを構築することができます。ヘッドライン・ニュースとモーメンタムに支配された市場において、現在はバリュエーション重視のアプローチが真に報われる可能性のある局面だとハリス社では考えています。

2026 年の米国外株式市場の見通し: 2026 年は国際株式を忘れてはいけない!
トニー・コニアリス、CFA、パートナー、米国外株式共同 CIO(最高投資責任者)

2025 年は分散投資の重要な役割が浮き彫りになり、米国外株式が米国株式をここ 10 年超で最大の差をつけてアウトパフォームしました。投資家はこのトレンドが継続するか疑問視していますが、ハリス社はファンダメンタルズがそれを示唆していると考えています。

2025 年の力強い上昇にもかかわらず、米国外株式は依然として米国株式に対して大幅なディスカウントで取引されています（過去の平均的なディスカウント幅である 14%の約 2 倍です）。なお、ハリス社が米国外株式について見ている根拠は以下のようなファンダメンタルズであり、魅力的なバリュエーションをはるかに超えて広がっています：

- **利益成長**： 利益成長率の見通しは、米国外では改善している一方、米国内では緩やかに縮小しています。
- **通貨の追い風**： 米ドル安による通貨の追い風がサポートとなります。
- **政策転換**： 欧州における規制緩和や財政支出拡大などの政策転換、さらにアジアの一部におけるガバナンス基準の改善は、株式投資家にとってポジティブです。

ハリス社は、2026 年の米国外株式のリターンについて楽観的な見方を維持しています。大部分の投資家が依然としてこの資産クラスにアンダーウェイトである中、ハリス社は今がエクスポージャーを拡大し、グローバル分散投資の恩恵を享受する好機であると考えています。

■当社がハリス・アソシエイツ社に運用を委託している各ファンドと、同社が米国で運用するファンドの投資哲学や基本的な運用方針等は共通のものです。当社では、当社が提供する各ファンドの運用内容をお客様がご理解頂くうえで有益と思われる情報を提供して参りますが、当該ファンドの勧誘を目的とするものではありません。

■投資信託に係るリスクについて

投資信託は、主に国内外の株式や公社債等の値動きのある証券を投資対象とし投資元金が保証されていないため、当該資産の市場における取引価格の変動や為替の変動等により投資一単位当たりの価値が変動します。従ってお客様のご投資された金額を下回ることもあります。

又、投資信託は、個別の投資信託毎に投資対象資産の種類や投資制限、取引市場、投資対象国等が異なることから、リスクの内容や性質が異なりますので、ご投資にあたっては投資信託説明書(交付目論見書・商品説明書)をよくご覧ください。

■投資信託に係る手数料等について

[ご投資頂くお客様には以下の費用をご負担いただきます。]

■申込時に直接ご負担いただく費用 …… 申込手数料 上限 3.3%(税抜 3.0%)

■換金時に直接ご負担いただく費用 …… 信託財産留保額 上限 0.3%

■投資信託の保有期間中に間接的にご負担いただく費用

…… 信託報酬 上限 2.035%(税抜 1.85%)

■その他の費用 …… 上記以外に保有期間等に応じてご負担頂く費用があります。

詳しくは投資信託説明書(交付目論見書・商品説明書)でご確認ください。

《ご注意》

上記に記載しているリスクや費用項目につきましては、一般的な投資信託を想定しております。費用の料率等につきましては、朝日ライフ アセットマネジメントが運用するすべての投資信託が徴収するそれぞれの費用のうち、最高の料率を記載しております。投資信託に係るリスクや費用は、それぞれの投資信託により異なりますので、ご投資をされる際には、事前によく投資信託説明書(交付目論見書・商品説明書)をご覧ください。

本資料は、朝日ライフ アセットマネジメントが、提携先であり、運用を委託しているハリス・アソシエイツ社が作成した資料をもとに、同社の情報提供を目的として、日本のお客様向けに日本語に翻訳したものです。したがって、特定の金融商品の勧誘を目的としたものではありません。本文中に特定の銘柄についてのコメントがある場合、当銘柄についての投資の助言や取引の推奨を行うものではありません。また、法令に基づく開示資料ではありません。資料の記載事項については資料作成時の執筆者の見解であり、将来予告なく変わることがあります。

2025-12-1428